

平成27年1月吉日

関係各位

日本国語教育学会岩手県支部  
会長 藤井知弘(岩手大学)

## 日本国語教育学会岩手県支部 冬季研修会のご案内

上越教育大学名誉教授 有沢俊太郎先生 ご講演  
盛岡市立大慈寺小学校 藤川ひとみ先生 ご講演

新春の候、皆様には新たな気持ちで更なる実践を探究していこうという意気込みにあふれていることと思います。日本国語教育学会岩手県支部は、昭和60年に全国で最初の支部会として発足しましたが、平成25年6月に体制を新たに構築し全国10番目の支部として再出発しました。以来、毎月の学習会を重ねてきています。広くみなさんと共に学ぶ機会としての冬季研修会を開催いたします。国語の授業創りに関心がある、単元を創ってみたい、単元学習って何？どんな実践や研究がなされているのかなど多くの問題関心をもってのご参加をお待ちしています。

講師として上越教育大学名誉教授である有沢俊太郎先生をお招きします。倉沢栄吉先生の弟子でもあった先生は、上越教育大学創設以来、多くの大学院派遣現職教員を指導されてきました。上越教育大学が行った「教育実践場面の研究」は国語教育学においても先進的な研究として高く評価されています。また大慈寺小学校長藤川ひとみ先生にもご講演いただきます。藤川先生はこの3月でご退職となりますが、今まで、岩手県の国語教育に多くの功績を残されてきました。その国語教師としての歩みに学ばせていただこうと思います。

一人でも多くの先生方のご参加をお待ちしています。

\*日本国語教育学会：日本最大の国語教育に関する団体。会員数 3250名 会員がお互いに国語教育の実践について学び合う会。会長：湊吉正(筑波大学名誉教授) 名誉会長：倉澤栄吉

### 日本国語教育学会岩手県支部 冬季研修会 テーマ 単元学習による国語科学習の創造

- ◆主催 日本国語教育学会岩手県支部
- ◆日時 2月7日(土) 9:30(受付) 10:00-17:00
- ◆場所 岩手大学学生センター棟 G2教室
- ◆講演講師 有沢俊太郎先生(上越教育大学名誉教授)
- ◆参加費 1500円(会員、一般) 学生 500円
- ◆内容 実践発表 小学校/中学校  
講演 (日程プログラムと詳細は裏面参照)

#### ◆参加申し込み先(できるだけ事前の申し込みをお願いいたします)

メール mugentom@iwate-u.ac.jp

FAX 019-621-6515 (添書必要なし) 藤井研究室宛

■記入事項 氏名 所属 職名 連絡先(電話もしくはメール)

■件名 冬季研修会参加

■申し込み事前締め切り 2月3日

## <プログラム>

9:30-10:00 受付

司会 黒澤みほ子

10:00-10:10 開会行事 本研究会の趣旨 会長・藤井知弘

10:10-10:40 実践発表①小学校 山下るり子先生(城南小学校)

「主体的な思考を促す書くことの学習過程 一食べ物ひみつブックを作ろう」

コメント 阿部敬行先生(本会顧問・元城南小学校長・白梅幼稚園園長)

10:45-12:00 講演① 藤川ひとみ先生(大慈寺小学校長)

「講演題 私の歩んだ国語教室」

12:00-13:00 昼休み

(岩手大学中央食堂が営業中です)

13:00-13:20 岩手県支部報告 県支部運営委員長・淵澤聡(土淵小)

13:20-14:20 実践発表②中学校 石井純先生(河南中学校・北東北三県交流人事秋田県派遣)

「説得力のある話し方をしよう 一ロールプレイング」

石井先生に訊く「秋田と岩手とを比べて」聞き手：藤井知弘

14:30-16:00 講演② 有澤俊太郎先生(上越教育大学名誉教授, 特任教授, 博士(教育学))

「講演題 倉澤, 大村先生から学んだこと」

16:10-16:50 講演を巡っての鼎談&フロアとの交流

有澤俊太郎先生&望月善次先生(本会顧問・岩手大学名誉教授)&藤井知弘

16:50-17:00 総括・展望 星俊也先生(本会副会長・城南小学校校長)

## <有澤俊太郎先生・ご紹介>

1947 富山県上市町生まれ 1975 東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学

東京教育大学教育学部助手, 文教大学教育学部講師, 富山大学教育学部助教授を経て 1983 上越教育大学着任 1992

上越教育学教授 2012 退任 現在 上越教育大学名誉教授, 上越教育大学特任教授

### ■主な研究関心

- 修辞学の国語教育学的研究：明治前中期において、イギリスの修辞学がどのように、紹介され、消化されたかを、文献学的方法により究明した。翻訳の様相(翻訳レトリック)、国語教育における様相(実践レトリック)を実証的に調査し究明した。
- 国語科実践場面に関する研究：実践的な場面における国語教育の事象を対象にした実証的な研究を行った。抽出見方によって学習者研究を行い、教育的な情報がどのように学習者の中で変容するかを、学年、教材文等の要因に注目することによって、場合別に明らかにした。

### ■著書・論文

- ・『明治前中期における日本的レトリックの展開過程に関する研究』風間書房、1998
- ・『教育実践場面分析演習「国語」の研究』I～V 上越教育大学、1996～2000
- ・『国語科教師教育としての実践場面の研究』(『国語科教師教育の課題』全国大学国語教育学会、1997)
- ・『教科教育実践学「国語」の課題と構想』(『教育実践学の構築』兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、1999)
- ・『国語科実践学の研究』I～IV 上越教育大学、2002～2005
- ・『教育 修辞 方法』東京書籍 2012

■所属学会 全国大学国語教育学会, 日本国語教育学会, 日本読書学会, 英国読書学会

## <本件に関する問い合わせ先>

019-621-6515 岩手大学教育学部藤井研究室

<申し込みフォーム> 申し込みはFAX(019-621-6515)かメールで

日本国語教育学会岩手県支部 冬季研修会 参加申し込み		
氏名	所属	職名
連絡先		